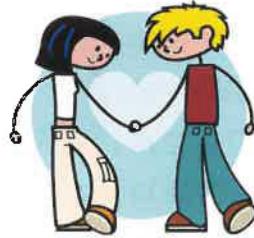


# 第35号 うつべ人権協ニュース

令和5年3月 発行  
内部地区人権教育推進協議会



内部地区人権教育推進協議会は、「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ」の実現をめざして、平成12年以来活動を続けています。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じた上で、内部地区で実施された人権に関する事業の内容を皆様にお伝えするために、「人権協ニュース」を発行して各戸にお届けしましたので、是非ご一読ください。

## 令和4年度 人権講演会開催 「高齢者の生き方を考える」

令和4年9月16日、内部地区市民センターにて、内部地区人権教育推進協議会主催の人権講演会が開催されました。この講演会は人権協議会委員の研修も兼ねて例年開催していますが、コロナ禍のため3年ぶりの開催となりました。

今年はコロナ感染症対策を講じた上で、会場を半分程度の定員にして48名の出席がありました。

近年、高齢者に対する虐待や介護放棄、特殊詐欺、交通弱者など、高齢者的人権が侵害されるような事例が各地で多く発生し、社会問題となっています。

そこで今回は、四日市大学特任教授の松井真理子先生を講師にお迎えして高齢者をめぐるさまざまな人権問題や高齢者だからこそできる社会への貢献についてお話をいただきました。

先生は先ず、日本は平均寿命の伸長にともない高齢者の人口割合が世界の主要国の中でも際だって高いこと、高齢者には身体能力の衰え、収入の減少、家族構成の変化、新しいものへの苦手意識等のような特徴と問題があり、ここにさまざまな人権問題が潜んでいると話をされました。

また、人権とは、「誰もがかけがえのない存在として幸福に生きられること」と定義されるが、高齢者に発生する問題には1人ひとりを大切にした対応をすることがすなわち、高齢者的人権であると強調されました。高齢者的人権には交通権、特殊詐欺、認知症、虐待などに係る課題があげられます。

交通権とは、免許返納や公共交通機関の廃止等で移動する権利が奪われることであり、これは昨今の高齢者による交通事故のニュースを思うと大変深刻な課題であろうと思われます。

特殊詐欺には高齢者の約95%が被害に遭わないと思っているとのデータを示されましたが、やはり自己過信や油断は禁物であると教えられました。

認知症は年々増加傾向にあり、高齢者ほど比率が高まっていて、しかも誰でも罹りうる身近な



病気と思われます。認知症に対しては本人や家族の対応には限界があると思われる所以、地域と連携した市民活動が効果を発しているとのことで「認知症カフ工」や「男の囲炉裏端の会」などの事例が紹介されました。これらの場の提供があってもそこに高齢者の参加がなければ意味がありません。高齢者が積み重ねた経験をもとにそういう場をつくる側に回ること、一方、その場に参画していくことが生きがいにもなり、引いては認知症予防にも効果を発するのではないかと思いました。

今後、日本は急激な人口減少と超高齢化が予測されており、LGBTQ（性的少数者）、コロナ・孤立、8050問題（＊）等々、社会課題はますます多様化すると思われます。自治体の取り組みも重要ですが、豊富な経験をもつ高齢者のボランティア活動への積極的な参加も期待されています。

高齢者の人権に係る課題は山積していますが、高齢者自らも前向きに行動し、高齢者だからこそできる社会貢献も重要ではなかろうかと話を結ばれました。

人権とは難しいことではなく、誰でも身近に直面する問題であることを再認識させられた意義のある講演会となりました。

（＊）80代の親が50代の子どもの生活を支えるという問題

## 人権おはなしコンサートを開催 ～寄り添う気持ちはあったかい～

11月12日（土）13：30～内部地区市民センター別館2階ホールで、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて、人権おはなしコンサートを行いました。

朗読と音楽のユニット「ことのね」さんをお迎えして、絵本の読み聞かせを中心に、その余韻を楽しめるように、物語に添えたオリジナル曲をフルートとピアノによるアンサンブルで心温まる演奏をしていただきました。

菰野町の五百羅漢を題材にし、「ことのね」さんのお話・フルート担当のゆうゆ（松岡由香）さんが製作した絵本「猫になった石工」の朗読・演奏は、身近な題材を用いた素敵なお話でした。

また、現代社会の課題でもある認知症を扱った作品は、人間の尊厳に優しく迫るもので、人権の根幹である「お互いを思いやる気持ち」に参加者全員が気づかせてもらう内容でした。

最後に、参加者全員で「上を向いて歩こう」を合唱しました。人生を前向き、肯定的に生きることの大切さに参加者一同気づかされました。

内部地区の人権担当の委員さんだけでなく、近隣地区の人権教育推進協議会の方の参加もあり、総勢57名の方の参加がありました。



## 人権意識を高める啓発ポスターを展示

10月30日(日)、3年ぶりに内部小学校で内部地区文化祭が開催され、人権啓発コーナーを開設しました。『人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ』をテーマに学校の協力を得て、内部小学校及び内部東小学校から11点、内部中学校から9点出展して頂きました。

今回の作品で、未来に繋がる物語的な表現で訴えている作品には、感激しました。  
他の作品の表現も様々で人権意識が高まっているのではないですか。

出展して頂いたポスターを順不同で掲載します。



いじめはいけない



口言われて  
しかもSNSで  
みんなお友達  
だと思つたのに

みんなの大好きな命こんなことをして  
自分につしている人もいるから  
いじめは絶対ダメだよ

内部東小5年 佐々木瑠菜



差別を ほしに  
みしむの心を一つに

内部東小5年 三澤陽菜多

みんな仲良く

笑顔だよ。

夢の中は

いじめなし

内部東小5年 西村華凜

かげ口はしていやいい

ね... ほい?  
うご

内部東小5年 浦松あこ

命は  
人命は  
あらゆる命は

現実

未来

一人で  
考えこまづ

たれかに  
相談しよう

内部中3年 堀川翔大

内部中1年 遠藤友菜



内部中3年 楠井乃愛

内部中3年 山田真輝

内部中2年 神野未羽

手をつなぎ  
広げていこう

すべての人に  
等しい権利

百人  
千色



自由  
あり

力べなし



内部中1年 小林七穂

イジメ・ダメ・ゼッタイ



内部中3年 伊藤雅文

みんな仲よし  
みんな仲間



内部中3年 川村昇子

## 人権地区懇談会開催

内部地区では、人権地区懇談会を開催するにあたって、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、各町自治会に開催の判断をお願いし、少人数で DVD を鑑賞していただき、鑑賞後の懇談は実施しないこととしました。

各町自治会の開催状況は次の通りです。



自治会名	開催日	参加者数	実施内容
泉町	11月15日	自治会長以下12名	DVD 鑑賞(親愛なるあなたへ)
北小松町	12月7日	自治会長以下11名	DVD 鑑賞(親愛なるあなたへ)
采女町中部・南部	雪のため 急遽中止		
波木町第2・第3	中止		
森ヶ山町	中止		
東原町	中止		